



平成 30 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 良久
(コード番号：6927 東証第1部)
問合せ先 常務取締役統括管理部長 川坂 陽一
(TEL 079-263-9500)

近紫外から近赤外光の広帯域の波長を有する LED 素子の開発に関するお知らせ

当社の連結子会社であるフェニックス電機株式会社（代表取締役社長 田原 廣哉）は国立研究開発法人 産業技術総合研究所（理事長 中鉢 良治）、株式会社サイアロン（代表取締役 湊田 英嗣）と協力して、近紫外から近赤外光の広帯域の波長を有する LED 素子を開発いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件については、昨夕日本経済新聞電子版において「広帯域で光る LED、工場検査しやすく」との報道がされました。

【概要】

フェニックス電機株式会社【代表取締役社長 田原廣哉】（以下「フェニックス電機」という）郷田 哲也 LED 開発グループマネージャー、国立研究開発法人 産業技術総合研究所【理事長 中鉢 良治】（以下「産総研」という）電子光技術研究部門【研究部門長 森 雅彦】光センシンググループ【藤巻真 研究グループ長】福田隆史 主任研究員、株式会社サイアロン（国立研究開発法人物質・材料研究機構の認定ベンチャ企業）高橋向星 開発部長は、近紫外（350nm）から近赤外（1200nm）にわたる極めて広い波長範囲の光を発することができる、従来にない LED 発光素子を世界で初めて開発いたしました。（2018年7月31日現在 当社調べ）

近紫外から近赤外にわたる極めて広い波長の光を発し、かつ、発光波長や強度が安定な新しい光源の実現はこれまで強く切望されていたもので、今後、医療・分析・科学計測から民生機器などの極めて広範な産業分野において、従来のハロゲンランプなどを代替する新しいメンテナンスフリーな小型・省エネ光源として普及していくことが期待されます。

_____は【用語の説明】参照

当開発の詳細については、フェニックス電機株式会社のホームページ
(<http://www.phoenix-elec.co.jp/>) をご参照ください。

なお、本件が当社の連結の当期業績に与える影響は現時点ではありません。今後開示の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

_____は【用語の説明】参照

【用語の説明】

◆近紫外光

紫外光（紫外線）のうち、波長が 315nm から 380nm の光を、特に近紫外光と呼ぶ。UV-A と記載されることもある。今回開発した素子の最短発光波長は 350nm であり、近紫外光の範囲に該当する。

◆近赤外光

赤外光（赤外線）のうち、波長が 780nm から 1400nm の光を、特に近赤外光と呼ぶ。NIR あるいは IR-A と記載されることもある。今回開発した素子の最短発光波長は 1200nm であり、近赤外光の範囲に該当する。

以上